



県労連・ヒロシマ労連新春旗開き 憲法を輝かせ 仲間を増やし要求の実現を!

広島県労連・ヒロシマ労連旗開きは、1月8日広島ガーデンパレスで開催され、佐久間邦彦県被団協理事長の日本被団協ノーベル平和賞受賞式報告で始まり、総がかり行動実行委石口俊一さん、日本共産党白川よう子さんが来賓あいさつを行いました。各組合のリレースピーチや、争議組合と新規組合の紹介、最後は国鉄ナッパーズの合唱など盛り上がりつつ旗開きでした。

神部泰広広島県労連議長(開会挨拶) 日本被団協のノーベル平和賞受賞を力に核兵器のない平和な世界へむけ大きく前にすすめるよう。物価高騰が重くのしかかり、貧困と格差の拡大は深刻。年間で9兆円近い軍事費拡大の一方で社会保障の切り捨ての政治を変える年にしたい。仲間を広げ「対話と学びあい」を重視するところ、とりわけその前提の「信頼と共感」づくりから「対話と学びあい」を具体化し、みなさんとともに考え、実行していく奮闘を大きく進めていきたい。

「リレースピーチ」
医労連 人が人をケアする職場で労働者が犠牲になる原因は人手不足。安心安全の医療介護実現のため大幅増員と社会的役割にふさわしい賃金を求めて運動をすすめたい。
自治労連 能登半島地震の状況から、自治労連の「公共を取り戻す」運動こそ地域を守り住民を守ることに繋がるということを感じた。政治の責任を強く追及し、労働者の人員増・予算増を要求していきたい。
建交労 建交労は1999年9月に、建設一般と全動労、運輸一般の3つが合同して結成された。今年は組織の若返りと要求の実現と組織拡大を前進させるために奮闘したい。



▲佐久間邦彦理事長報告



▲労働相談センター



▲国鉄広島ナッパーズの合唱

広島合同労組 昨年末の一時金は、宮本塗装支部で嘱託職員(再雇用職員)にも正社員と同月数支給という大きな前進回答を獲得。生協福祉支部(労組)では念願の「退職金制度確立」に向けた協議をすすめている。

郵政ユニオン 郵政ユニオンは、人間らしく働ける職場、働く者が普通の暮らしを維持できる収入と社会保障を整え、生きがいを実感できる社会の実現を目ざしたい。

県国公 「総人件費抑制」により公務員賃金は抑えられ、近年は若年層を中心に大幅な改善が実現しているが中高年齢層は、物価上昇分に到底追いついていない。春闘で大幅に改善したい。

全教 学校では先生が足らず大変。また不登校の生徒が、ずっと増え、昨年度は34万6千人。学校が子どもや教師に合わなくなってきた。とを感じる。全教広島は、過しやすい学校、働きやすい学校づくりを目ざして引き続き奮闘する。

広私教 「私立学校」では労働基準法が完全適用され、働かせ放題は違法。しかし多くの私立学校で「違法」が行われてきた。「違法」をなくし「労働条件」の前進へ今年奮闘したい。

国労 職場・地域で、国労の旗が目に見える運動と組織拡大を両輪に据え、全ての組合員と安全・安心の鉄路を守るため、皆さんと一緒に奮闘していく。

年金者 「年金を毎月支給しろ!物価を上回る年金を!」の声を国会に届け、そのためにも10万人を切った組合員を高齢者人口の1%を実現したい。みんな年をとる。将来のあなたも是非加入を。

三菱広船分会 現役組合員

尾三地域労連 一人でも加えられる地域労組びさん。解雇撤回、労働条件の向上と今年是被爆から80年、7月の国民平和大行進、8月の原水爆禁止世界大会の成功へ向け奮闘したい。

福山地区労会議 興産産業支部は残念ながら昨年12月に解散となった。支部の仲間たちの強い団結や闘いへの学習や姿勢は福山地区労会議の財産となった。これまでにみなさんの支援に感謝。

県北地域労連 学習会を通して、北欧諸国では豊かな高齢者福祉を実現していることや三次市の健康保険料の状況など学習。組合員を増やし一つ一つ歩みすすめていきたい。

労働相談 現在相談員は11名。パワハラ相談が急増。相談センター開設から28

【新規組合】
福保労 府中なかよし保育園支部 昨年7月1日に結成。9月6日に19人の労働者が参加し、結成総会を開催。みんなで働きやすい保育園をつくらせていきたい。

【閉会挨拶】 今年①物価高を超える賃上げ②公共と社会保障の充実③大軍拡を許さず戦争準備をさせない。の目標に向かって「対話と学びあい」を中心に声を上げ、政治を変え、仲間を増やす取り組みを強めよう。

【爭議】
福祉保育オハナ分会 2023年2月に訴訟を起し昨年10月には証人喚問があり、1月21日に結審。裁判を通じより良い人間関係を働きやすい職場をつくらせていきたい。

故後河内麻季先生過労自死 娘が自死して8年。裁判では私たちの主張は認められなかったが、娘(麻季)の想いを知るために新たに訴訟を起していききたい。引き続き支援を。

「草の根わらわら」

被爆80年 反核平和

2025.01.15 かわ

2025年は、被爆80年、敗戦80年、日韓基本条約締結60年、国連・国際女性の日制定50年の日。そして、安部法制成立10年など、諸問題で節目の年だ。この6件だけでも、日本政府が国民のいのちや暮らしを最優先しているとは到底思えない。日本被団協ノーベル平和賞受賞に対して、核兵器廃絶に取り組みどころか、トランプ新大統領にすり寄ることに苦心している。県労連女性センターが事務協を務めるはたらく女性の広島県集会実委はアンケート活動を継続しているが、節目の年に合わせ「あなたにとって『平和』とは何ですか?」を加えた。集約はまだ一部だが、意外にも「戦争がない」という回答は少なく「日々安心して暮らすこと」「幸せに過ごせること」「日常生活が続くこと」などが多数を占める。今の日本が戦争状態でないことがベースにあるのだから、▼として、安心して暮らし続けることは、日本国憲法通りの社会の実現ではないだろうか。憲法前文は「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と、「平和的生存権」を謳っている。恐怖、欠乏とは、戦争がない状態だけではなく、失業、まともな衣食住が得られない不安、暴力や差別、偏見などの恐怖等広く意味し、政府が全力をあげて恐怖や不安を無くすことを誓っている▼諸分野で節目となる今年、改めて対話を重視し、憲法守り生かす運動を強めたい。

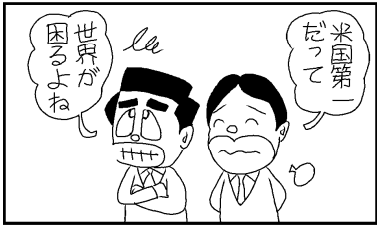
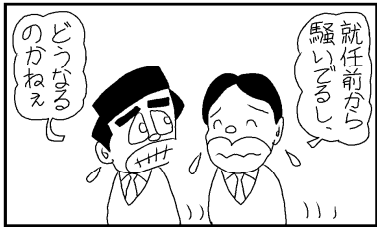
(は)

推進力

2025年は、被爆80年、敗戦80年、日韓基本条約締結60年、国連・国際女性の日制定50年の日。そして、安部法制成立10年など、諸問題で節目の年だ。この6件だけでも、日本政府が国民のいのちや暮らしを最優先しているとは到底思えない。日本被団協ノーベル平和賞受賞に対して、核兵器廃絶に取り組みどころか、トランプ新大統領にすり寄ることに苦心している。県労連女性センターが事務協を務めるはたらく女性の広島県集会実委はアンケート活動を継続しているが、節目の年に合わせ「あなたにとって『平和』とは何ですか?」を加えた。集約はまだ一部だが、意外にも「戦争がない」という回答は少なく「日々安心して暮らすこと」「幸せに過ごせること」「日常生活が続くこと」などが多数を占める。今の日本が戦争状態でないことがベースにあるのだから、▼として、安心して暮らし続けることは、日本国憲法通りの社会の実現ではないだろうか。憲法前文は「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と、「平和的生存権」を謳っている。恐怖、欠乏とは、戦争がない状態だけではなく、失業、まともな衣食住が得られない不安、暴力や差別、偏見などの恐怖等広く意味し、政府が全力をあげて恐怖や不安を無くすことを誓っている▼諸分野で節目となる今年、改めて対話を重視し、憲法守り生かす運動を強めたい。

なんじゃらほいほい

No.408 和井かやの



▲会場いっぱいの90人が参加

ノーベル平和賞の授賞式にあわせてノルウェーのオスロを訪れた広島県被団協の佐久間邦彦理事長ら3人が、1月11日広島市東区で報告会を行い、会場いっぱい



▲参加者と上原先生(前右から3人目)

1月19日、県労連介護福祉労働者連絡会主催の「ケアで疲弊しないために」介護従事者のための事例検討会が広島市で開催され、オンライン参加者を含めて16名が参加しました。

佐久間さんは、たいまつ行進で核廃絶を訴えたこと、被爆樹木の種を届けたりした活動を紹介し、種を起草した際に行ったスピーチに大きな賞を力に核兵器をなくすためにみなさんと一緒に頑張らないといけない」と話しました。

1月19日、県労連介護福祉労働者連絡会主催の「ケアで疲弊しないために」介護従事者のための事例検討会が広島市で開催され、オンライン参加者を含めて16名が参加しました。

その上で日本被団協の受賞について、「うれしい、よかったで終わってはならない。これからどうしていくのか大きな課題だ。今後も受賞を力に核兵器をなくすためにみなさんと一緒に頑張らないといけない」と話しました。

広島YMCAの中奥岳生さんは、現地の様子を動画に収めることを主眼に参加し、綿密な準備の模様や毎日朝三時まで編集作業を行った

ノーベル平和賞授賞式報告会

これからどうしていくかが課題



▲報告いただいた左から渡部さん・佐久間さん・中奥さん

事例検討で

介護労働の大切さを学習

んは「介護の現場で働くなかまが、現場で直面する課題や問題を共有し、共に学び、お互いが成長しあうことができる一歩に繋がることを事例検討会に期待する」と挨拶。2事例を参考に、グループ討論などを通して検討しました。講師の上原千鶴子さん(元広島国際大学教授)は、「本人の介護実態だけでなく、家族との関係性・家の周りの危険性を考える中で、日常生活をどう支えるのかを考えると基本であり、何より本人が何を望んでいるのかを深掘りする姿勢が必要」と語り、介護・福祉労働の重要性を強調しました。

25春闘スタート宣伝

ヒロシマ労連

1月7日(火)の新春初の街頭宣伝行動は、チラシ、ティッシュを配布し、横断幕を掲げ、マイクでアナウンスし、「労働組合に入って交渉しよう」「給料を上げてといえるのは労働組合だけ」と目に訴え耳に響く労働者市民への訴えを行いました。

早朝7時30分より宣伝開始、広島市内7ヶ所、89人が参加し1833枚のチラシを配布し、25春闘のスタートを切りました。

呉春闘共闘

呉春闘の2025年初春の街宣行動を1月6日呉駅前で行いました。生憎の雨模様のため通行人は少し寂しかったものの、参加者の配布する「物価高で家計は大変、給料上げてと声をあげよう」というピラを入れたティッシュを受け取り、「頑張って下さい」と激励がありました。



▲広島駅北口での宣伝行動

新しい年になって、いよいよ働く者のくらし改善を求め、25春闘が本番になってきました。25国民春闘は行動すれば変えられる大幅賃上げ・底上げ、労働時間の短縮を」という横断幕を掲げて市民にアピール、働く者への支援を訴え、森島地区労連議長は「働く者の生活改善が、皆さんのくらし改善につながります。異常な物価高騰をストップし、軍拡ノ、社会保障充実を一緒にめざしましょう」と熱く訴えました。



▲呉春闘共闘宣伝

県労連公式LINEができました！ぜひ周りの方にもシェアしてご活用ください！

2025 ひと

広島自治労連執行委員長
広島市職員労働組合 副委員長
なかいし ひろみ

中石 浩美さん



現場では定年延長1年生で、主任保育士として勤務。広島自治労連では執行委員長、市職労では副委員長、保育園支部では事務局次長、とたくさんの方を助けた、職場のことや組合のこと、何を相談してもすぐに答えてくださる素敵な大先輩です。これまで自治労連保育部会副部長や保育園支部事務局長・支部長

広島県へ予算要求

12月20日「軍事費削ってくらしと福祉・教育の充実を」国民大運動実行委員会は広島県への予算要求を行いました。内容は中小企業支援、労働・雇用、教育、給食費、最低賃金の引上げ・医療、社会保障、災害対策、平和・被爆者行政、政治とカネ問題など44項目に及びました。

クリスマス消費税デモ

消費税廃止各界連絡会は12月24日、京口門公園から元安橋まで「クリスマス昼デモ行動」に取り組みました。労働組合・民団団体などから40名が参加し、「消費税は5%に戻せ」「インボイスは中止せよ」「生活費に税金をかけるな」など唱和して行進しました。サンタの衣装やトナカイの帽子を身につけた参加者は「大軍拡・大増税をやめよ」「消費税を5%に」と書かれた紙を掲げ、アピールしました。



「核兵器禁止条約」発効4年集会

2021年1月22日の「核兵器禁止条約」から4年迎えるにあたって1月22日昼に広信市内本通り電停前において条約発効4年を祝う集会が行われました。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准」を求める署名への協力をお願いしました。広島県原水協の呼びかけに約50人が参加し、禁止条約への参加求めるボードなどを掲げ、市民にアピールしました。

はたらく女性の広島県集会

2月23日(日)「はたらく女性の広島県集会」は今年で68回目を迎えます。集会キーワードは「被爆80年」「ノーベル平和賞受賞」「ジェンダー平等の実現」の3つ。ここからテーマを「未来を創る私たちの一歩—ジェンダー平等と核兵器廃絶に向けて平和の港へ出航しよう」とし、記念講演では日本平和委員会常任理事の川田忠明さんに、「ジェンダー平等の視点で核兵器廃絶を」と題してお話いただきます。



スポーツ県労連



▲12月13日アンケート配布